

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	キャリアデザイン I	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	34	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	キャリアコンサルタント有資格者としての実務経験を活かし、学生の進路について指導を行う	
授業の目的	就職や職場実習を見据え、自己分析を行いつつ自分の適性や能力を見つけ、計画性を持って学校生活を送っていけるようになる。	
期間目標	前期	自己分析を行い、自分の適性や能力を見つける
	後期	計画性を持って学校生活を送り、職場実習に備える
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	自己理解・他者理解(グループワーク)	3
5月	自己理解・他者理解(グループワーク)	3
6月	仕事理解、適性診断	4
7月	仕事理解、適性診断	3
8月		
9月	エントリーシート作成	4
10月	エントリーシート作成	4
11月	就職サイトへのエントリー	4
12月	業界サイトへのエントリー	4
1月	会社説明会参加対策	3
2月	会社説明会参加対策	2
3月		
合 計		34
到達目標	日本で生き抜くための必須能力を学習し身につけていく手段を考える	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	(講義)・(実習)	
科目名	ビジネスリテラシー	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	34	
担当教員名		
実務経験	(有)・無	
	キャリアコンサルタント有資格者としての実務経験を活かし、学生の進路について指導を行う	
授業の目的	社会人基礎力を学び、ビジネスシーンに必要な敬語、電話応対、社内コミュニケーションなどを学び、社会人としての振る舞いやマナーを身につける	
期間目標	前期	ビジネスシーンに必要な敬語、電話応対、社内コミュニケーションなどを学び、社会人としての振る舞いやマナーを身につける。
	後期	
使用教材	オリジナルテキスト	
<b>授業計画</b>		
月	指導計画内容	時間数
4月	ビジネスマナーの基本 服装と身だしなみ、挨拶	6
5月	ビジネスマナーの基本 言葉遣いの応用	6
6月	社員間のコミュニケーション	8
7月	社会人基礎力	6
8月		
9月	マナー総括	8
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		
合 計		34
到達目標	社会人としての振る舞いやマナーを身につける	
成績評価基準	①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う ②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満 ③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	(講義)・実習	
科目名	ビジネス語学 基礎	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
授業の目的	日本語能力試験(N2)の取得及びTOEIC(600点以上)の取得を目指し、ビジネスシーンに必要な語学力のブラッシュアップを目指す	
期間目標	前期	現時点より上の日本語能力試験に目標を立てる
	後期	日本語能力を高め、英語能力の向上に取り掛かる
使用教材	オリジナルテキスト	
<b>授業計画</b>		
月	指導計画内容	時間数
4月	日本語能力試験N3対策	6
5月	日本語能力試験N3対策	6
6月	日本語能力試験N3対策	8
7月	日本語能力試験N3対策	6
8月		
9月	日本語能力試験N2対策	8
10月	日本語能力試験N2対策	8
11月	日本語能力試験N2対策	8
12月	日本語能力試験N2受験	8
1月	TOIEC対策	6
2月	TOIEC対策	4
3月		
合 計		68
到達目標	TOEIC(600点以上)、日本語能力試験(N2以上)	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。          特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験          定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	ビジネス会計	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	一般企業などでの経理事務の経験を活かし会計簿記の基礎から講義を実施する	
授業の目的	会計の基礎として簿記基礎の知識を学び、収入と支出の感覚を身につける。	
期間目標	前期	簿記の基本を理解する
	後期	日本商工会議所簿記検定初級の取得を目指す
使用教材	オリジナルテキスト	
<b>授業計画</b>		
月	指導計画内容	時間数
4月	簿記の基本概念	6
5月	取引と勘定記入、仕訳と転記	6
6月	現金・預金、商品売買	8
7月	売掛金と買掛金	6
8月		
9月	仕訳帳と総勘定元帳	8
10月	試算表と精算表	8
11月	検定対策	8
12月	検定対策	8
1月	検定対策	6
2月	検定対策	4
3月		
合 計		68
到達目標	簿記の基本を習得し、日商簿記初級の取得を目標とする	
成績評価基準	<p>① 評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>② 成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満</p> <p>③ 追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	デジタルマーケティング I	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	一般企業でのデジタルマーケティングの経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	集客に必要なSNSマーケティングやHPの更新、ブログの更新等、現在必須とされているデジタル技術の基礎を身につける。	
期間目標	前期	デジタルマーケティングの基礎知識を学ぶ
	後期	SNSの運用方法を学び、運営準備を整える
使用教材	オリジナルテキスト	
<b>授業計画</b>		
月	指導計画内容	時間数
4月	デジタルマーケティングの基礎知識	6
5月	デジタルマーケティングの基礎教養	6
6月	SNSの媒体別特性	8
7月	運用実践・SNSの投稿作成	6
8月		
9月	運用実践・SNSのステール撮影	8
10月	運用実践・SNSの動画撮影	8
11月	広告・キャンペーン	8
12月	ユーザーコミュニケーション	8
1月	KPI・データ分析	6
2月	運用の振り返りとブラッシュアップ	4
3月		
合計		68
到達目標	デジタルマーケティングの基礎知識、SNSの運用方法を学び、SNSの運営準備を整える	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

## 2023年度 年間指導計画書

授業方法	(講義)・(実習)	
科目名	料飲サービス 基礎	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	136	
担当教員名		
実務経験	(有)・無	
	ホテルでの実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	ホスピタリティの考え方、接客サービスの基本となる心構え・所作・言葉遣いを学び、お客様への基本的対応が自然に行えるようになる。	
期間目標	前期	料飲の基礎を理解し、テーブルセッティングが行えるようになる
	後期	レストランサービスの基本的動作を身につける
使用教材	オリジナルテキスト	
<b>授業計画</b>		
月	指導計画内容	時間数
4月	料飲部門の概要	12
5月	什器・食器・備品類の知識	12
6月	メニューの知識、西洋料理の概要	16
7月	フルコースの解説、テーブルマナー	12
8月		
9月	朝食の基礎知識、日本料理・中国料理の基礎知識	16
10月	レストラン概要、レストランサービス	16
11月	サービス技術、ルームサービス	16
12月	レストラン運営の基本	16
1月	宴会部門概要、宴会予約	12
2月	宴会サービス、婚礼サービスと慶弔の知識	8
3月		
合 計		136
到達目標	レストランサービスの基本的動作を身につけ、お客様への基本的対応が自然に行えるようになる	
成績評価基準	<p>① 評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>② 成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。          特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満</p> <p>③ 追試験          定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	ホテルマネジメント I	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	ホテルでの実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	「宿泊部門」の専門知識を中心に、売上に関する収益管理力や、目標を達成するために実現可能なプランを企画する力などの基本的な知識を学ぶ	
期間目標	前期	宿泊部門の基礎を身につける
	後期	フロントでの基本的対応を身につける
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	フロントオフィスとは	6
5月	客室のタイプと料金	6
6月	リゼベーションクラークの心得、客室予約の種類	8
7月	宿泊予約システム概要	6
8月		
9月	レセプション業務、ルームアサインメント	8
10月	チェックイン業務、宿泊中・チェックアウト業務	8
11月	会計業務、宿泊料金の計算	8
12月	外貨両替業務、貴重品預かり業務	8
1月	インフォメーション業務	6
2月	防犯業務	4
3月		
合 計		68
到達目標	ホテル業界の歴史、分類、現状と課題など、業界で働くために必要な基礎知識を身につける	
成績評価基準	<p>① 評価は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>② 成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。          特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満</p> <p>③ 追試験          定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試験受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	ホテル概論	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	136	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	ホテルでの実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	ホテル業界の歴史、分類、現状と課題など、業界で働くために必要な基礎知識を学ぶ。	
期間目標	前期	ホテルの概要を学び、ホテルの成り立ちを理解する
	後期	ホテルマンの資質を身につける
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	ホテルとは何か	12
5月	ホテルの分類	12
6月	ホテル発達の歴史	16
7月	ホテル産業の特徴	12
8月		
9月	ホテル内での様々な職種(ホテルの組織)	16
10月	宿泊・料飲・宴会の基礎知識	16
11月	ホテルスタッフに求められる能力	16
12月	ホテルを取り巻く環境	16
1月	ホテルの社会的責任	12
2月	これからのホテル	8
3月		
合計		136
到達目標	ホテル業界の歴史、分類、現状と課題など、業界で働くために必要な基礎知識を身につける	
成績評価基準	<p>① 評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>② 成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満</p> <p>③ 追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	観光学基礎	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	旅行業務管理者として実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	「観光」の歴史や現代においての意義、時代の変化によるあり方などを学び、顧客の心理に寄り添うための知識を学ぶ	
期間目標	前期	観光とは何かについて、知識を深める
	後期	観光の現状、今後について知識を深める
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	観光とは何か	6
5月	観光の歴史	6
6月	観光とサービス	8
7月	旅行事業	6
8月		
9月	宿泊事業	8
10月	観光交通事業	8
11月	観光と文化	8
12月	観光と民間信仰	8
1月	ニューツーリズム	6
2月	これからの観光	4
3月		
合計		68
到達目標	ホテル業界の歴史、分類、現状と課題など、業界で働くために必要な基礎知識を身につける	
成績評価基準	<p>① 評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>② 成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満</p> <p>③ 追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	ホテル演習 基礎(職場見学・実習)	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	34	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	ホテルでの実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	宿泊施設内の仕事がどのようなものかを、現場を見学、簡単な実習を通して学ぶ。	
期間目標	前期	
	後期	ホテルでの実習を通して現場知識を身につける
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月	ホテル研究 見学・レポート作成・発表	8
11月	ホテル実習先研究・挨拶・レポート作成	8
12月	ホテル実習 実習後レポート作成・発表	8
1月	ホテルの繁忙期について レポート作成・発表	6
2月	ホテル比較 レポート作成・発表	4
3月		
合計		34
到達目標	宿泊施設内の仕事がどのようなものかを、現場を見学、簡単な実習を通して学ぶ。	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	(講義)・(実習)	
科目名	IT実務	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 1年	
時間数	102	
担当教員名		
実務経験	(有)・無	
	一般企業でのOA事務およびパソコンスクール等における指導経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	Word、Excel、PowerPointの基本的な操作を身につけ、グラフや表を用いた資料作成、顧客への案内文書の作成などの作成ができるようになる。	
期間目標	前期	パソコンの基本操作の習得・入力速度の上達
	後期	日本語ワープロ・表計算検定の合格
使用教材	日本語ワープロ:4級～3級 文書デザイン:4級～3級 表計算:4級～3級 プレゼン:3級 テキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	パソコンの基本操作	9
5月	Wordの基本操作	9
6月	Excelの基本操作	12
7月	PowerPointの基本操作	9
8月		
9月	日本語ワープロ 3・4級	12
10月	日本語ワープロ 3・4級	12
11月	表計算 3・4級	12
12月	表計算 3・4級	12
1月	文書デザイン3級	9
2月	プレゼン 3級	6
3月		
合 計		102
到達目標	パソコンの基本操作の習得およびパソコン関連検定3級の取得	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	